

橋梁（５橋）塗装塗替設計業務委託 特記仕様書

総 則

（適用範囲）

第１条 本特記仕様書は、魚沼市が発注する「橋梁（５橋）塗装塗替設計業務委託」に適用する。

また、本業務の実施にあたり、受注者は本特記仕様書によるほか、業務委託契約書、「新潟県測量・設計・調査業務委託標準仕様書」（以下「標準仕様書」という。）のほか、魚沼市委託契約条項（令和４年魚沼市告示第１５９号。以下「委託契約条項」という。）に従い実施するものとする。

（目 的）

第２条 本業務は、過年度に実施した橋梁塗装塗膜調査の結果、有害物質であるＰＣＢが確認されたことから、対象橋梁における対策工の補修設計を行い、工事発注図書の作成を行うことを目的とする。

（期 限）

第３条 本業務の履行期限は契約締結の日から令和７年２月２８日までとし、工期を厳守するものとする。

（通 則）

第４条 受注者は、業務計画書を作成し、契約後遅滞なく発注者に提出しなければならない。

- | | | |
|----------------------|------------------|----------|
| (1) 業務概要 | (2) 実施方針 | (3) 業務工程 |
| (4) 業務組織計画 | (5) 打合せ計画 | |
| (6) 成果物の品質を確保するための計画 | | |
| (7) 成果物の内容、部数 | (8) 使用する主な図書及び基準 | |
| (9) 連絡体制(緊急時含む) | (10) 使用する主な機器 | (11) その他 |

前項の提出書類について、発注者が不相当と認め受注者に協議したときは、受注者はこれに応じなければならない。

（管理技術者）

第５条 管理技術者は、本業務を遂行する上で技術上の管理を行うに必要な能力と経験を有する技術者で、建設部門（選択科目：鋼構造及びコンクリート）の技術士、もしくはＲＣＣＭ（鋼構造及びコンクリート）を有する者でなければならない。

また、平成３１年４月１日から令和６年３月３１日までの５年間に、魚沼市もしくは新潟県土木部が所管する道路橋の補修設計業務に係る管理技術者として従事した経験を有すること。

業務内容

(業務内容)

第6条 本業務の内容は、以下に示すとおりとする。

I. 対象橋梁

①市道日影3号線 日影橋(堀之内地区)

鋼桁橋、L=32.1m、W=4.8m S46年3月竣工 R2点検(管理区分3)

②市道和田原1号線 吉田橋(堀之内地区)

鋼I桁橋 L=40.5m、W=4.7m S42年12月竣工 R1点検(管理区分3)

③市道大浦・大浦新田線 観音欠橋(小出地区)

鋼H桁橋 L=21.5m、W=6.3m S48年11月竣工 R1点検(管理区分2)

④市道守門17号線 白石橋(守門地区)

鋼H桁橋 L=44.9m、W=5.7m S47年6月竣工 R1点検(管理区分1)

⑤市道宇津野66号線 駒ノ湯橋(湯之谷地区)

鋼桁橋 L=30.5m、W=4.7m S46年10月竣工 R2点検(管理区分3)

II. 業務内容

【1】設計準備・計画

(1) 業務計画 【上記I. ①②③④⑤橋を対象】

受注者は、契約後速やかに橋梁補修の実施体制を整え、必要な資料の収集、現地踏査計画を検討し、標準仕様書第1112条に基づいて、業務計画を作成し、監督員に提出するものとする。

(2) 既存資料の収集・整理 【上記I. ①②③④⑤橋を対象】

業務に先立ち、設計(竣工)図書、点検資料等の貸与資料や既存の関連資料を収集し、整理を行う。

(3) 現地踏査 【上記I. ①②③④⑤橋を対象】

既往資料をもとに現地踏査を行い、損傷程度の概要、既存の補修対策状況、添架物・支障物件の有無、周辺状況、施工性を確認し、補修設計の計画立案に必要な基礎的状況を把握する。

また、詳細調査時に必要となる資機材の確認や運搬経路、交通量、想定される交通規制(交通整理員の配置人数等)、橋梁の劣化程度、その他調査を実施するために必要な現場の状況を確認する。

現地踏査により、防護柵取替の必要がないことが確認された場合は、別途、監督員と協議のうえ、設計変更の対象とする。

(4) 現地詳細調査（外観計測） 【上記Ⅰ．①②③④⑤橋を対象】

一般図復元を目的とした外観計測を行う。なお、外観計測の実施にあたっては、橋梁点検車（BT-200）を用いた調査を想定する。

(5) 一般図作成（現地計測による復元） 【上記Ⅰ．①②③④⑤橋を対象】

補修設計に必要な図面（一般図）を作成する。既存資料（建設時の竣工図や過年度調査成果等）が無い場合は、構造形式を確認し、必要寸法を測定のうえ一般図を作図する。

(6) 関係機関協議 【上記Ⅰ．①②③④⑤橋を対象】

調査・補修設計に必要な関係機関ごとに、協議、諸手続き、資料収集及び協議資料の作成を行う。ただし、河川占用許可申請書の作成が必要となる場合は、別途、監督員と協議のうえ、設計変更の対象とする。

【2】補修設計

(1) 塗装塗り替え工 【上記Ⅰ．①②③④⑤橋を対象】

過年度に実施した橋梁塗膜調査の結果、有害物質であるPCBが確認されたことから、塗装塗り替え工事の発注に必要な塗装面積の算出、足場工計画、塗装種類の選定等の設計（対策工法の検討、設計図作成、数量計算、照査、報告書作成）を行う。

塗装仕様は塗装の劣化状況に合わせて決定し、劣化しやすい桁端部や下フランジ、添接部等については別途検討を行い、現橋図に基づいた塗装構成図を作成する。

特殊な防食方法等の比較が必要な場合は監督員との協議により別途、塗装仕様の検討を実施する。

塗装設計を進めるにあたっては、過年度の塗装塗膜調査における有害物質（PCB）を含有する試料採取の分析結果を踏まえて実施すること。

なお、あて板補修等の対策工が必要と判断された場合は、発注者と協議を行い、変更契約の対象とする。

(2) 防護柵取替設計 【上記Ⅰ．①②③④橋を対象】

過年度に実施した橋梁塗膜調査の結果、有害物質であるPCBが確認されたことから、防護柵の取替設計を実施する。

取替設計に先立ち、既設の防護柵の種別や高さ、材質（鋼製、アルミ製）、地覆の打替えの必要性、道路幅員への影響などの構造検討を行うものとする。

防護柵の取替は「橋梁防護柵取替要領（案）平成21年9月新潟県土木部道路管理課」に基づいて、防護柵の取替設計（対策工法の検討、設計図作成、

数量計算、照査、報告書作成)を行う。

なお、防護柵の取替に伴い必要となる地覆の拡幅や嵩上げ、改造等の設計を行い、⑤駒ノ湯橋の防護柵片側ビームの交換設計(設計図作成、数量計算)を含むものとする。

(3) 施工計画 【上記Ⅰ. ①②③④⑤橋を対象】

補修工種全体の施工順序、施工要領、概略工程表、仮設足場図を作成し、施工時の留意点等を取りまとめる。

また、河川橋における等流計算による流下能力、水位の検討程度を含むものとし、不等流計算による検討が必要となる場合は、別途、監督員と協議のうえ、設計変更の対象とする。

(4) 概算工事費 【上記Ⅰ. ①②③④⑤橋を対象】

監督員から近年の工事費用の資料を受け取るなどを行い、補修工種ごとに概算工事費を算出する。

(打合せ協議)

第7条 本業務の実施にあたり、打合せ協議は「業務着手時」「中間3回」「完了時」の計5回を予定するものとし、「業務着手時」および「完了時」には管理技術者が立合うものとする。

なお、河川管理者である新潟県魚沼地域振興局との関係機関打合せ協議を2回予定する。

(貸与資料)

第8条 以下の資料を貸与する。

- ・令和元年度 橋梁点検業務委託 報告書
- ・令和2年度 橋梁点検業務委託 報告書
- ・既存の現橋設計図書、道路台帳図等
- ・その他、河川条件に関する資料等

成果品

(成果品)

第9条 本業務の成果品は以下のとおりとする。

- | | | |
|--------------------|-----|-----|
| (1) 橋梁補修設計業務委託 | 報告書 | 1 部 |
| (2) 上記、電子データ(CD-R) | | 1 式 |

(成果物の使用等)

第10条 成果品はすべて発注者の所有とし、受注者は発注者の承諾を受けないで他に公表、貸与、使用してはならない。

その他

(資料の貸与及び返却)

第 11 条 監督員は、設計図書に定める図書及びその他関係資料を、受注者に貸与するものとする。なお、貸与資料は、業務着手時に受注者に貸与することを原則とし、これに依らない場合は、業務着手時に貸与時期を受発注者間で協議する。

受注者は、貸与された図書及びその他関係資料を丁寧に扱い、損傷してはならない。

(書類の厳正な保管)

第 12 条 本業務の関係書類は、発注者に提出するまでの間、汚損、紛失、消失等がないよう厳正に保管しなければならない。

(疑 義)

第 13 条 受注者は発注者と緊密な連絡をとり、円滑な作業の進捗を図るとともに、作業段階ごとに協議を行わなければならない。また、受託者は、本仕様書及び設計書等に疑義が生じた場合、ただちに委託者と十分な協議を行い、その指示に従わなければならない。

(業務の完了)

第 14 条 本業務は、業務終了後所定の図書を提出し、検査に合格した時をもって完了とする。

以 上